

JAGCE第12回全国大会
中村学園大学・中村学園大学
短期大学 会場2604
10:30-10:55

グローバル人材育成の対象と学び方を広げよう

【大会テーマ】

『個人・組織・社会の WELL-BEING を目指すグローバル人材育成』

2025年2月9日(日)
一般社団法人GLOBAL8

会長 八木 智裕

<http://global8.or.jp>

過去10年の振り返りから

これからの10年+→について

意見を発表するに至った2つの活動紹介

過去10年の振り返りから

開催日	大会名	開催校	発表・参加内容	備考
2015/8/8	第二回北海道支部大会	札幌大学	企業におけるグローバル人材育成のあり方と産官学連携のスタイル	ブラッシュアップして 下記全国大会参加
2015/11/15	第三回全国大会	明治大学	産学連携によるグローバルインターンシップ実践報告	関西大学COILへの つながり
2016/7/17	第三回北海道支部大会	北海学園	時間軸・空間軸を見据えた羅針盤	以上NECとして活動
2017/6/17	第四回関東支部大会	中央大学	「教育連携部会」高大連携企画協賛	第6回も支援するも 応募者無し
2019/9/22	第五回北海道支部大会	北海道情報大学	地域のリソースとしての理工系学生	科研「AI学習」評価登 場
2020/3/21	第五回中部支部大会	金沢工業大学	リサーチインターンシップに挑戦する理工系学生への支援を通じての「つながり」考察	・コロナにより中止 対象学生に継続学習 やドイツ語への興味

- 自らの経験をもとに企業や他学会での研究をベースにコロナ前までは発信努力に努めた
が、コロナで学習環境並びにグローバルが大きく変化する中、従来の学習者(大学生)・
外国語(英語)中心で良いのだろうか？

- **訪日外客数2024年計:36,869,900人(日本政府観光局<JNTO>発表)**
→**2030年6000万人計画**
- **日本人学生留学数:2022年度58,162人(独立行政法人日本学生支援機構公開)**
東京都独自で海外留学費用支援(来年度予算計画)
短期留学で年間500人、中長期留学で年間100人、語学留学は対象外
- **外国人留学生在籍状況:2023年5月279,274人(同上)**

個人・組織・社会の Well-being を目指すグローバル人材育成(大会テーマ)

- 本大会を契機に具体的に貢献出来そうな活動理解に努めたいと思います

中央教育審議会(第140回) 令和6年12月25日開催配付資料(資料1-1)から

- 初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について(諮問)
- 外国語教育について、小学校高学年の外国語科を導入する等、小学校から高等学校まで大幅に充実がなされた中、生成 AI の活用を含め、今後の在り方をどのように考えるか。また、手軽に質の高い翻訳も可能となる中、**外国語を学ぶ意義**をどのように考えるか。

⇒(COPILOT200文字見解)外国語教育の今後の在り方については、生成AIの活用を含めた個別指導や適応学習の強化が期待されます。また、高品質な翻訳が可能になった現在でも、外国語を学ぶ意義は重要です。言語学習は、異文化理解、コミュニケーション能力の向上、批判的思考の発展に寄与し、グローバル社会での競争力を高める要因となります。

Global8の過去活動結果を踏まえた**乱暴な**4つの意見

- ICTネイティブの少子化時代に、外国語学習は中学校教育で1つのGOALとし、それ以降の**継続学習(希望者)**は留学目的や就労で必要な業務ニーズを踏まえたレベルにシフトさせる
- ICTネイティブにとっても生成AIを利活用した学習は新たな挑戦であり、無暗に信頼し頼ることのないような学び方を指導者と一緒になって研鑽する
- 少子化の反面、2023年10月末時点の外国人労働者数は204万8,675人となり、過去最高を更新している。これらを受けて日本語教育の学校・教師制度が大幅に見直され待遇面等の課題はあるものの、外国人とのコミュニケーションを活用する局面は日本国内においてすら大幅に増大する。現在日本語教育学会を中心に対応を進めているが、グローバル人材育成の対象者をこのような外国人労働者やその予備軍、およびその日本語指導者に早急に拡げ問題解決の糸口を共有していくべきである
- 高校以降の外国語教育においては地政学的近隣諸国や、世界における当該言語利用人口、自身の将来キャリア(スポーツ・音楽)のルーツ・指導者を意識した学習機会を供与し、「つながり」の深さを学ぶきっかけとなる外国語学習とすべきである

Global8の過去活動結果を踏まえた**乱暴な**4つの意見

- ICTネイティブの少子化時代に、外国語学習は中学校教育で1つのGOALとし、それ以降の**継続学習(希望者)**は留学目的や就労で必要な業務ニーズを踏まえたレベルにシフトさせる
- ICTネイティブにとっても生成AIを利活用した学習は新たな挑戦であり、無暗に信頼し頼ることのないような学び方を指導者と一緒になって研鑽する
- 少子化の反面、2023年10月末時点の外国人労働者数は204万8,675人となり、過去最高を更新している。これらを受けて日本語教育の学校・教師制度が大幅に見直され待遇面等の課題はあるものの、外国人とのコミュニケーションを活用する局面は日本国内においてすら大幅に増大する。現在日本語教育学会を中心に対応を進めているが、グローバル人材育成の対象者をこのような外国人労働者やその予備軍、およびその日本語指導者に早急に**拡げ問題解決の糸口を共有していくべきである**→**日本語教育学会での発表から抜粋紹介**
- 高校以降の外国語教育においては地政学的近隣諸国や、世界における当該言語利用人口、自身の将来キャリア(スポーツ・音楽)のルーツ・指導者を意識した学習機会を供与し、「つながり」の深さを学ぶきっかけとなる外国語学習とすべきである

参加テーマ: LNBTIにおけるOPIC適用評価プロジェクト進捗状況のご紹介

- 「高度人材」に位置付けられる優秀な外国人の中でもニーズの高いICT技術習得を目指す学生の日本語コミュニケーション能力獲得概況をOPICにより可視化するプロジェクト2年目の概況を紹介させて頂き、第二回結果の共有化を通して今後の展開に向けた課題や改善点を議論し、ICTを利活用した教育も考えていきたい。
- 全体内容左記QR動画参照下さい



LNBTIの紹介 Web: <https://lnbti.lk/>

- Lanka Nippon BizTech Institute
- 2022年では、スリランカ政府から「4年制大学レベルの高等教育機関」
- LNBTIの学位は主に3種類
 - ①スリランカ国内だけで4年間学ぶ「LNBTIの学位」プログラム
 - ②スリランカ国内だけ学ぶ「グリンウィッチ大学」(イギリス)の学位プログラム
 - ③最初の2年間の教育はLNBTIで学び、残りの2年間は日本の提携大学で学ぶ「日本の学位」プログラム
- Prof.Ananda Kumara (Ph.D, TokyoTech)

President/Vice Chancellor, Lanka Nippon BizTech Institute (LNBTI), Sri Lanka

Head of the Japanese Studies Department, LNBTI

Professor Emeritus, Meijo University, Japan

(Former Founding Dean, Faculty of Foreign Studies, Meijo University

Former Deputy President, Suzuka International University, Japan)



1. OPIcの活用による学習品質の向上

- 普段教室や家庭で参考書やコンピューターで学習している学生らに、AIやICTのツールの利用で、学習範囲を広げ、習得方法を効率化できることを考えてもらう。
- OPIcの導入を通じてその機会を与えたい。

2. オンラインによる海外学習者へのOPIc適用の意義

- OPIcはオンラインで利用できるもので、海外で学ぶ学習者も受験が可能である。
- 面接形式のためオンラインでの実施は比較的容易である。
- 面接会場を模したセットを教室内につくって実施することで、日本の会場で対面形式で行う環境と差がないようにすることも可能。



3. JLPTレベルとOPIc評価の関連を検証

- OPIcの受験生は、あるレベル以上の日本語能力が必要ですので、トライアルの最初の対象学生は、JLPT-N3以上の資格をもつ学生とする。
- 漢字・語彙の知識や聴解能力が向上していく中で、会話力がそれに伴ってどのくらい伸びるものかを調査する。
- また、この検証結果の信頼性をより高めるため、受験者をN4資格をもつ学生まで徐々に増やしていく。

4. テキストにない日常会話の指導要否をOPIcを通じてLocal指導者と考察

- 海外の学校での日本語学習者は多くの場合、現地のnon-native教師から学ぶことになるため、JLPT対策用につくられた一般テキストに沿った正当な日本語がメインの学習となる。
- 実際の日本社会で使われている日常会話はこれらとかけ離れている表現が多く、その指導要否は判定しにくいところである。OPIcの受験によって、どのようなレベルまでの実用会話を指導すべきかを確認したい。



5. 生徒の能力レベルごとにOPIc受験の有効性を検証し持続可能なプログラムを構築

- OPIcを実施して検証すべきことは、
 - 学生らが会話能力の重要性を改めて認識し、会話への学習意欲を高めることの確認
 - 講師陣がテキストにない実践的会話能力をどの程度指導すべきか理解することの確認
- この2つに効果があることが確認できれば、OPIcをLNBTIにて正式採用したい。

OPIcの実施が、学生にとっても、講師陣にとっても、それぞれのモチベーションを刺激するきっかけになることを期待している。



文化庁2021.3.12付け報道発表

- 「日本語教育の参照枠」二次報告の中で社会的ニーズに応える適切な日本語能力判定の在り方について提言
- 当法人のサービスするOPIcの位置付け

ACE単位認証について



ACTFL RATINGS	CEFR RATINGS	LANGUAGE ABILITY	U.S. WORK LEVEL GUIDE	TARGET OF ACQUISITION (ACE CREDIT GUIDE)
Superior	C2	Discuss topics extensively, support opinions, hypothesize. Deal with linguistically unfamiliar situation	University Language Professor, Financial Services Marketing Consultant, Foreign Area Officer, Lawyer, Judge, Court Interpreter	6 Upper Division + 6 Lower Division
Advanced High	C1	Narrate and describe in past, present and future and deal effectively with an unanticipated complication	Physician, Human Resources Communications Consultant, Financial Services Senior Consultant, Quality Assurance Specialist, Marketing Manager, Financial Advisor, Broker, Military Linguist, Translation Officer	6 Upper Division + 6 Lower Division
Advanced Mid	B2.2		Banking and Investment Services Customer Service Representative, Fraud Specialist, Account Executive, Medical Interpreter, Patient Advocate, Court Stenographer, Court Interpreter, Human Resources Benefits Specialist, Technical Services Agent, Collection Representative, Estimating Coordinator	6 Lower Division + 3 Upper Division
Advanced Low	B2.1		K12 Language Teacher, Nurse, Social Worker, Claims Processor, Police Officer, Maintenance Administrator, Billing Clerk, Legal Secretary, Legal Receptionist, 911 Dispatcher, Consumer Products Customer Services Representative, Retail Services Personnel	9 Lower Division
Intermediate High	B1.2	Create with language, initiate, maintain and bring to a close simple conversations by asking and responding to simple questions	Policeman, Fireman, Utilities Installer, Auto Inspector, Aviation Personnel, Missionary, Tour Guide	9 Lower Division
Intermediate Mid	B1.1		Cashier, Sales Clerk (highly predictable contexts), Receptionist	6 Lower Division + 3 Upper Division
Intermediate Low	A2	Communicate minimally with formulaic and rote utterances, lists and phrases	Housekeeping Staff	3 Lower Division
Novice High	A1			3 Lower Division
Novice Mid	0			
Novice Low	0			

濱中2001
アメリカにおける大学外学習の
単位認定制度
— ACE/CREDITの制度と実態 —



Global8の過去活動結果を踏まえた**乱暴な**4つの意見

- ICTネイティブの少子化時代に、外国語学習は中学校教育で1つのGOALとし、それ以降の**継続学習(希望者)**は留学目的や就労で必要な業務ニーズを踏まえたレベルにシフトさせる
- ICTネイティブにとっても生成AIを利活用した学習は新たな挑戦であり、無暗に信頼し頼ることのないような学び方を指導者と一緒になって研鑽する
- 少子化の反面、2023年10月末時点の外国人労働者数は204万8,675人となり、過去最高を更新している。これらを受けて日本語教育の学校・教師制度が大幅に見直され待遇面等の課題はあるものの、外国人とのコミュニケーションを活用する局面は日本国内においてすら大幅に増大する。現在日本語教育学会を中心に対応を進めているが、グローバル人材育成の対象者をこのような外国人労働者やその予備軍、およびその日本語指導者に早急に拡げ問題解決の糸口を共有していくべきである
- 高校以降の外国語教育においては地政学的近隣諸国や、世界における当該言語利用人口、自身の将来キャリア(スポーツ・音楽)のルーツ・指導者を意識した学習機会を供与し、「つながり」の深さを学ぶきっかけとなる外国語学習とすべきである→**一般社団法人 日本外国語教育推進機構 (JACTFL)活動結果紹介**

一般社団法人日本外国語教育推進機構 (JACTFL) 第12回シンポジウム

- 外国語教育の未来を拓く:ことばの価値に気づくための外国語教育
- 日時:2024年3月10日(日)10:00~17:15
- 会場:上智大学四谷キャンパス 6号館
- 【第4部】15:55-16:55 (対面)
- 「多様な外国語を学ぶ高校生の声 #〇〇語 #キテる #2024」
 - 今回、JACTFLとして初めて、シンポジウムの会場で高校生の声を直接聞く機会を設けてみた。フランス語、ドイツ語、ロシア語、スペイン語、中国語、韓国語を学ぶ高校生たちが、同じ年代の高校生に向けて、彼らの思いが込められたメッセージを伝える。
 - 韓国語 神奈川県立平塚湘風高等学校、東京都立三鷹中等教育学校
 - ロシア語 関東国際高等学校、早稲田大学高等学院
 - フランス語 大妻中野中学校・高等学校、東京都立北園高等学校
 - 中国語 関東国際高等学校、横浜市立みなと総合高等学校
 - ドイツ語 東京都立北園高等学校、**獨協中学校・獨協高等学校**
 - スペイン語 神奈川県立藤沢総合高等学校、埼玉県立坂戸高等学校
- 次回は広く公募予定 2025年3月9日(日)第13回シンポジウム

- **こんにちは！ 獨協高等学校3年 狩野晋一郎と申します。**
- **私は中学3年から現在に至るまで、約3年間ドイツ語を高校の選択科目として学んでいます。**
- **A.OPIcを受験した経緯**
 - 第12回シンポジウム(主催:日本外国語教育推進機構)の高校生セッションで『多様な外国語を学ぶ私たち いま高校の仲間に伝えたいこと』のモットーの下、講演をさせていただき、参加記念品として、OPIc(ドイツ語)無償受験機会をいただきました。
- **B.OPIcを受験した時期・感想**
 - 私は7月15日から7月22日まで、国際ドイツ語オリンピック*(Internationale Deutsch- Olympiade 2024 - Goethe-Institut)の日本代表(A2レベル・国内大会1位)としてドイツで活動していました。国際ドイツ語オリンピックで得たドイツ語力を試すために、帰国後OPIcを受験させていただきました。OPIcでは自分に合ったテーマでスピーキングテストを受験できたため、あまり焦らず普段と同じように話すことができました。残念ながら、目標としていたレベルには達しませんでした。取得レベルの確認ができ、とても良い経験になりました。
 - *国際ドイツ語オリンピック...2年に1度、世界中でドイツ語を学習している生徒を対象に、リスニング、面接、リーディング、作文、プレゼンテーションなどの総合力でドイツ語の力を競う大会。世界から数百万人が参加し、ドイツで行われる国際大会には、各国の選考を勝ち抜いた14~17歳の生徒が100人程度集まり、約1週間かけて3つのレベル(A2/B1/B2)で順位を争う。
- **C.その他・今後に向けて**
 - 私は、OPIc受験がきっかけで、ドイツ語のスピーキングを強化しようと思い、ドイツ語スピーチコンテストなどに挑戦しようと思っています。今後もドイツ語を学び続け、定期的にOPIcを受験し、将来的に私の目標とするレベルであるC1を取得できるように頑張りたいと思います。
 - 末尾ではございますが、このような受験機会をくださったJACTFLの方々、そしてGLOBAL8の皆様から心から御礼申し上げます。ありがとうございました。

新たな適用事例・検証に向け柔軟な対応・支援を行います！ adm@global8.or.jp

- 学術・企業・賛助会員限定価格・申込方法 <http://global8.or.jp/member.html> 参照
- 個人向け申込方法 http://www.global8.or.jp/personal_register.pdf



楽しくコミュニケーションを通じて「つながり」を！

出来ればLNBTIの受験希望者拡大対応に向け科研獲得や大学・企業連携期待します！